

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年06月01日

計画の名称	人口減少に打ち克つための街なか居住拠点の整備												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	あま市												
計画の目標	あま市では「力強く健やかな勇健都市」あまを市民の総力で」という基本理念のもと、安全で魅力ある都市空間の構築に向けた都市拠点づくりを進めている。本市の交通拠点である名鉄津島線の木田駅周辺地区において、街なか居住拠点として駅周辺のバリアフリー化などの整備を都市再生整備計画事業で推進してきたところである。本計画ではこの拠点内の土地区画整理事業を推進することで、駅周辺に良好な宅地の供給を行い、想定地区内人口を約600人強の人口増加を図りながら、地域の日常生活を支える中心的な場の形成を推進する。そして、街なか居住拠点における生活利便施設の一層の集積を誘導し、より多くの人が高度で多様な都市サービスを楽しむことができるまちづくりを図ることで、人口減少に打ち克つための都市構造の構築を図ります。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	520	A	520	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	土地区画整理事業施行地区内の新規住宅着工件数(累計)を0戸から40戸に増加する。 住宅着工件数 令和2年度末までにおける土地区画整理事業施行地区内の新規住宅着工件数(76条申請)を計測する。	0戸	戸	40戸
2	消防活動困難区域面積を48,900㎡から0㎡に解消する。 消防活動困難区域面積 (消防活動困難区域) = (幅員4m以上道路に接していない土地)	48900㎡	㎡	0㎡

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	あま市	間接	あま木田郷 南土地区画 整理組合	-	-	あま木田郷南土地区画整 理事業(1-A-2)	都市再生区画整理事業:7.32 ha	あま市						257		-	
												小計						257		
住環境整備事業	A16-002	住宅	一般	あま市	直接	あま市	-	-	あま木田郷南土地区画整 理 住宅市街地基盤整備 事業(1-A-1)	(街路:二改)北苅木田線: 275m	あま市						263		-	
												小計						263		
										合計							520			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	あま市	直接	あま市	-	-	公園整備事業 (1-C-1)	2箇所、 A=2,200㎡	あま市						0	-		
		基幹事業である土地区画整理事業(1-A-2)と一体的に整備することで、防災機能の向上を図り、安全で快適な生活環境の整備を図る。																		
											小計						0			
											合計						0			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 あま市建設産業部において実施。	事後評価の実施時期 令和3年度
	公表の方法 あま市の公式ウェブサイトにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業が順調に進捗し、土地区画整理事業施行地区内の新規住宅着工件数（累計）は0戸から71戸に増加した。 工事が完了し、幅員4m以上の道路に接していない土地（消防活動困難区域面積）が4.89haから0.0haになった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
早期に保留地分譲を完売し、R4年度末の組合解散を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	住宅着工件数	
	最終目標値	40戸
	最終実績値	71戸
新規住宅着工が順調に進捗したため、目標値を上回ることができた。		
2	消防活動困難区域面積	
	最終目標値	0m ²
	最終実績値	0m ²
工事が完成し、目標値を達成した。		